

倫 理 審 査 申 請 書

平成 23 年 12 月 17 日

川崎医科大学・同附属病院
倫理委員会委員長 殿

申 請 者 (主任研究者)
所 属 附属病院看護部 12 階中病棟
職 名 看護副主任
受講番号 11-0501
氏 名 阿部 由美 印

※受付番号 _____

	所属長氏名	中務京子 印
1 審査対象： 実施計画		
2 審査区分： ㊤. 疫学研究 B. 観察研究 C. 介入研究 (侵襲無) D. 介入研究 (侵襲有) E. ヒトゲノム・遺伝子解析研究 F. ヒト幹細胞研究 G. 遺伝子治療 H. 幹細胞治療 I. その他 ()		
3 厚生労働省未承認の試薬・機器・その他の使用： する ・ ○しない		
4 課題名： 当院における助産外来の取り組み		
5 主任研究者： 所属 附属病院看護部 職 看護副主任 氏名 阿部由美		
6 分担研究者： 所属 附属病院看護部 職 助産師 氏名 三宅 真由美 別紙 1 参照		
7 研究等の概要： 平成 20 年から始まった日本看護協会の重点事業に 1 つである院内助産システムの推進により、助産外来や院内助産の開設が全国的に増加してきている。当院では GP 事業「周産期対策の為の医療環境の整備 (院内助産所等の設置)」への申請をきっかけに平成 23 年 1 月 1 日から助産外来を開設した。開設までの取り組みと現在までの状況と評価 今後の課題についてまとめ報告することを目的とした。受診者数や分娩件数についても集計し報告する。		
8 研究などの対象、実施場所、実施期間： 主任研究者が関わった助産外来開設までの取り組みと実際に行っている内容について検討を行う。日々の業務でまとめている受診者の数について集計し 1 年間のまとめをする。実施場所は 12 階中病棟詰所内で行う 集計期間は 2011 年 1 月から 2011 年 12 月末までの 1 年間とする 検討実施期間 倫理委員会承認後より開始し平成 24 年 3 月末までとする		

- 注意事項
1. 申請書、研究実施計画書を 2 部添付してください。
 2. 研究実施計画書は、別添の「研究実施計画書作成要領」に従って作成のうえ、本申請書に添付して提出してください。参考資料は必要最小限にし、必ずページ番号を付ける。他の機関で作成した書類をそのまま用いることは、原則として不可。
 3. ※印は記入しないでください。

9 研究等における医学倫理的配慮について ((1)~(3)は必ず記入のこと)

(1) 研究等の対象とする個人の人権擁護

日々の業務でまとめている受診者数や分娩件数について集計する。電子カルテから個人の情報を取り出す事はない。

受診者数や分娩件数の集計のみであり、利益や損失はない。

(2) 研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

日々の業務の中で、電子カルテの外来受診一覧から受診数をまとめており、1年間の集計を手書きで行う為対象にはならない。

(3) 研究等によって生ずる個人への不利益並びに危険性に対する配慮

個人の特定はない

(4) そ の 他

本研究に関する利益相反はない。 また被験者の金銭的負担ならびに謝礼の支払いはない